

共生社会創成の現実： インドの取り組みから考える 障がい者の支援と自立

国際シンポジウム

上智大学は2022年度よりユニバーサルマナー検定をすべての学生に実施させるなどの取り組みを推進している。共生社会の実現がSDGsの取り組みとして世界的に進んでいる一方、その現実はどうなっているのか、インドと日本の事例を参考に考えてみたい。

本シンポジウムでは、障がい者をDifferently Abledとみて彼らのもっている可能性を活かす取り組みを行っているインド(Kerala)のDifferent Art CentreよりMr.Gopinath Muthukad所長を招聘してご講演頂くとともに、彼の活動の成果であり、障がい者の自立実績ともいえるMr.Vishnuによる魔術発表に対して日本の障がい者や社会福祉を専門とする学者からコメントや評価を行う。またインドと日本の障がい者支援について議論を行う。

17:20-19:30

11.7 (火)

Vishnuによる
マジックパフォーマンスあり



会場: 上智大学四谷キャンパス6号館101教室

申込: <https://forms.gle/Paa4oJe2cZKaVtzEA>



Sophia Open | 6th Nov. → 23rd Nov. |
Research Weeks 2023

SOPHIA
100TH
ANNIVERSARY



基調講演 Mr. Gopinath Muthukad

「Different Art Centreの自立支援の実現について

～Mr. Vishnuによるマジックショーとともに～



ゴピナート・ムトゥカド氏は「ディファレント・アート・センター」の創設者であり、インドのケララ州出身の有名なマジシャンであり慈善家である。幼い頃からマジックの旅を始め、1974年以來さまざまな国で8,000回を超えるステージでパフォーマンスを行い、世界的な賞を獲得した。マジックを教育の対象として、また社会を改善するために活用できるものとして見ることを提唱する。さまざまな障害を持つ人々とその家族の生活を目の当たりにして影響を受けた。これにより、彼は商業的な公の舞台公演から身を引いて、慈善活動に専念することになった。マジシャン、モチベーション講演者、ユニセフ大使、そして数冊の本の著者である。

トリバンドラムのマジック・プラネットでパフォーマーを務める22歳のヴィシュヌ氏は、脳性麻痺と知的障害を克服して傑出したマジシャンになった。手の動き、集中力、スピーチ、調整などの課題に直面しているにもかかわらず、ヴィシュヌは過去5年間にMpower劇場で4,000回を超えるショーを完遂した。彼の人生は、ゴピナート・ムトゥカド氏の指導の下、3か月の献身的なトレーニングを通じて変わった当初は話すことも物を持つこともできなかったにもかかわらず、ヴィシュヌは今では複雑な手品を難なくこなし、高い評価と賞を獲得している。児童発達センター（CDC）とコミュニケーション認知神経科学研究所（ICCONS）が実施した科学的調査では、彼のマジックの実践による精神的、身体的、社会的改善が顕著であることが判明し、詳細な報告書が政府に提出された。ヴィシュヌの成長は、インド記録簿とアインシュタイン世界記録にも記載されている。



パネリスト



大塚 晃

上智大学
総合人間科学部教授

上智大学総合人間科学部社会福祉学科特任教授。障害児の地域生活移行及び地域生活支援システムについて研究。特に、知的障害・自閉症などの発達障害の支援に関する研究を専門とする。



垣内 俊哉

株式会社ミライロ代表取締役社長

生まれつき骨が脆く折れやすいため、車いすで生活を送る。自身の経験に基づくビジネスプランを考案し、国内で13の賞を獲得。障害を価値に変える「バリアバリュー」を提唱し、大学在学中に株式会社ミライロを設立した。高齢者や障害者など誰もが快適なユニバーサルデザインの事業を開始、障害のある当事者視点を取り入れた設計監修・製品開発・教育研修を提供する。社会性と経済性を両立する取り組みの実績をもとに、国内のみならずアメリカ・フランス・エクアドル・オーストラリアなど海外における登壇や、メディア出演も多数。テレビ東京「ガイアの夜明け」、NHK総合「おはよう日本」コメンテーター出演など



平澤 良和

千代田区児童・家庭センター
発達支援係長

1991年上智大学社会福祉学科入学し、1995年千代田区役所に入庁。福祉職として「富士見福祉会館」「福祉作業所」を経て「障害者福祉課」で14年勤務。現在は「千代田区立児童・家庭支援センター」で児童の発達支援を担当し、千代田区子ども発達センターさくらキッズセンター長を兼務する。

モデレーター：

アガスティン サリ教授（FGS・IAAMES）；戸田 美佳子准教授（FGS・IAAMES）

主催：上智大学アジア文化研究所（諸宗教間対話と平和構築研究プロジェクト）

後援：上智大学グローバル・コンサーン研究所、多文化共生社会研究所、上智学院サステナビリティ推進本部、ダイバーシティ推進室
問い合わせ：i-asianc@sophia.ac.jp